

絆

学校便り10月(1)号

日置市立生橋中

きずな

令和元年10月9日



授業で「わかる」とは ～県民週間を前にして～

校長 井之上 良一

子どもたちの学校生活の大半を占める各教科等の授業は、子どもたちにとって将来のことも含めて大きな意味を持っています。同時にそれは、学校の教育の質を左右するものでもあります。それ故に、学校において「教師力」が問題にされる時、その核心は「授業力」のことでなければならないと思います。

ところで、子どもたちが授業で「わかる」とは、どのような状態を指しているのでしょうか。この場合、少なくとも「わかる」には二通りの意味合いがあります。一つは事実や現象を知るという意味です。もう一つは物事や現象の成り立ちなどを理解するという意味です。従って、授業で「わかる」ためには、事実や現象を知ることも必要ですし、物事や現象の成り立ちを自分が持っている知識と結びつけたり、過去の経験と照らし合わせたりして考えることも必要になってきます。

要するに、「わかる」というのは、一方的に説明を聞いて即座にわかるというような単純なことではなく、思考活動を伴ってはじめて導かれるものではないかと思えます。

こうした思考活動が活発に行われるためには、対象（現象や事象）に対する問いかけや働きかけが積極的に行われることが不可欠です。ある教育実践者は、「わかる」授業について、『『わからない』の出る授業は、『わかる』授業である。『わからない』から授業で『わかるようになりたい』のである。』と言っています。いささか逆説的な言い方ですが、実はこれは授業の真理なのではないかと思えます。つまり、「わからない」から授業が成立するのであり、「わからない」は授業の成立にとって困った状況ではなく、授業の出発点だというわけです。

その意味で、教師が「わかりましたか」と問いかけ、子どもたちが条件反射的に「はい」と答える授業を目にすることがありますが、このような授業は、実は「わかる」授業とは対極にある「何もわからずとしていない」授業と言っても過言ではないでしょう。

このように考えてくると、「わかる」授業の実践というのは、決して容易な営みではなく、今も昔も学校にとって変わらぬ課題であると言えます。言い換えれば、思考活動が活発に行われるような授業をいかに構想し、実践を積み重ねていくかが、学校に問われ続けています。

まもなく、「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」（11月初旬）もやってまいります。保護者や地域の皆様方には、この機会にぜひ学校にお越しいただきまして、上述した視点をもって、授業をはじめとする本校の教育活動を御参観いただき、忌憚のない御意見を頂戴できれば幸いです。皆様方の声を、今後の教育活動を充実させるための道しるべにしたいと考えております。



地域人材を活用した授業

生徒会立会演説会・選挙 10/1

3年生が中心となって進めてきた生徒会活動が、11月から1・2年生にバトンタッチされます。新しい生徒会長を決めるための立会演説会・選挙が10月1日に行われました。1・2年生全7人が立候補し、自分が進めていきたい生徒会活動についての考えを発表しました。あいさつをさらに良くしていきたい、朝のランニングに全員が参加できるようにしたい、学年関係なくもっとまとまりがある集団にしたいなどそれぞれの想いを表明していました。選挙の結果、2年生の さんが新しい会長に決まりました。良き伝統を引き継ぎ、さらに新たなことにも挑戦する生徒会になっていくことを期待しています。



また、これまで生徒会を引っ張ってきた3年生は本当にお疲れ様でした。会長の さんを中心に、少ない人数ながらも全体のためによく活動できていました。これからも後輩の良き相談役となってください。

新生徒会役員 (敬称略)

本 部	会長	副会長	・
学習文化部	部長	副部長	・
保体生活部	部長	副部長	・

地域が育む「かごしまの教育」県民週間について



11月1日から7日まで「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」及び「『学校を見に行こう』週間」になります。この期間は学校を開放し、多くの保護者や地域の皆様に学校や生徒のようすを御自由にご覧いただく機会となります。下記のとおり計画しておりますので、ぜひお越しください。

1 文化祭

- (1) 日時 11月1日(金) 9:00~12:35
- (2) 場所 土橋中体育館
- (3) テーマ 「咲かせよう 文化の華 令和で躍動 さわやかイレブン」
- (4) 内容 合唱活動、総合的な学習の時間発表会、ダンス、ビブリオバトル、賛助出演(トランペット演奏)他

※ 体育館は冷えますので、ひざかけや座布団を御準備いただくと、ゆっくりとご覧いただけます。

2 日置市伊集院地域音楽発表会

- (1) 日時 11月6日(水) 9:30~11:30
 - (2) 場所 伊集院文化会館
- ※ 伊集院地域の小・中学校が集まっての発表会です。

3 フリー参観

- (1) 期日 11月5日(火)~7日(木)
 - (2) 時間帯 8:45~12:35, 14:15~16:05
- ※ 5日(火)は、「心の教育の日」として全学年で道徳科の授業を行います。

4 写真展「土橋中のあゆみ」

- (1) 期日 11月1日(金)~
 - (2) 場所 校舎1階廊下
- ※ 写真は県民週間終了後もしばらくの間展示いたします。

○ 校舎玄関に受付がございます。感想用紙も準備しておりますので、忌憚のない御意見・御感想をお聞かせください。

中間テストに向けて

10月16日、17日に中間テスト(3年生は実力テスト)が実施されます。残り1週間を切りましたが、テスト対策の勉強は進んでいるでしょうか。決められた範囲を集中して勉強できるテスト対策の勉強は、効果の高い習得・定着の機会になります。計画的に学習を進めていきましょう。また、分からないところは先生たちへ質問しましょう。個別にじっくりと指導を受けることができるのは本校の大きなメリットです。積極的に先生たちを活用してください。

10月8日の生徒集会では、学習文化部の企画で「なぜ学ぶのか」を考える機会が設けられました。異学年で話し合うことができたようです。学習方法に関する本が図書室に多くあることも紹介されました。学習方法の見直しの参考にするのもよいことだと思います。



地区新人総体に向けて(推戴式) 10/8

10月9日、10日に地区新人総体が開催されます。今回は、男子バレーボール部の さんが伊集院中・串木野中との合同チームで、ソフトテニス部の さん、 さん、 さんが個人戦と団体戦(オープン参加)に出場します。 さんは、たった一人のバレー部員となってしまいましたが、毎日伊集院中まで出掛け、練習に励んでいます。ソフトテニス部の4人は、1年生のみで活動していますが、一步一步着実に上達してきています。大会前日の8日に推戴式が行われ、 さんは「自ら考えて行動し、自信をもってプレーしたい。」、ソフトテニス部主将の さんは「初めての大会で緊張しているが、これまでの練習の成果を発揮したい。」と大会に臨む決意を表明してくれました。皆さんの活躍を期待しています。

